

平成 30 年度
第 1 回 横浜市外郭団体等経営向上委員会 次第

平成30年 6 月 5 日 (火)
15 : 00~16:00
戸塚公会堂 2 号会議室

- 1 開会

- 2 平成29年度 総合評価の所管局・団体振り返りについて
(資料) 『平成29年度総合評価 振り返り結果一覧』

- 3 平成30年度経営向上委員会の運営について
 - (1) 次期協約策定等
(資料) 『審議方法 (案) 及び団体視察実施状況一覧』

 - (2) 団体視察
(資料) 『審議方法 (案) 及び団体視察実施状況一覧』

 - (3) 委員会での説明方法

- 4 その他

- 5 事務連絡

- 6 閉会

■平成29年度総合評価 振り返り結果一覧

所管局	団体名	の団体 方向性 経営	評価 分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り
1 政策	(公財) 横浜市男女共同 参画推進協会	引き 続き 経営 の 向上 に 取 り 組 む 団 体	① 引き 続き 取 組 を 推 進	協約の取組目標について、順調に取り組まれている。 平成31年度までとなっている現在の協約における取組について、既に目標が達成されているものがあるが、今後も更に取組を進めていくことが求められる。 また、将来にわたり公益的役割を果たすという団体の使命を達成していくため、市や他団体との役割分担に配慮しながら、社会環境の変化に応じた団体の使命に基づき、事業の取捨選択を行っていく必要がある。男女共同参画センターの施設運営方法については、引き続き、検討していく必要がある。	協約は、すべての項目で順調に推移しています。引き続き社会情勢の変化も踏まえ、協約内容の点検や課題への対応を行っていきます。 男女共同参画社会の推進を目的とした協会は、同目的のために設置された男女共同参画センターと一体となり、効果的な事業を実施してきました。引き続き、PDCA サイクルによるスクラップアンドビルドを行い、社会的ニーズと収支のバランスを取りながら、効率的な事業執行に努めていきます。また、市民グループとの公募型の協働事業を進めるなど、地域との連携についても積極的に進めるとともに、市や関連団体と課題や施策をしっかりと共有し、団体としての役割を常に確認し、事業を展開していきます。 今後も、現場である男女共同参画センターや協会が把握したニーズを市へ還元し、政策として実現させていくなど、横浜市の男女共同参画に係るトータルな支援ができる唯一の団体として、時代に対応した施策を効果的・効率的に実施していきます。
2 国際	(公財) 横浜市国際交流 協会	引き 続き 組 む 経 営 の 向上 に 取 り 組 む 団 体	① 引き 続き 取 組 を 推 進	協約の取組目標は順調に取り組まれている。 当期一般正味財産増減額が26年度・27年度・28年度と3年度連続マイナスとなっており、コスト削減や効率的な事務執行に努めるとともに収入増加に向けた取組等を実施し、経営の安定化を図る必要がある。	協約の取組については順調に進捗しています。引き続き経営の向上に取り組むため、今後とも、各部門の事業の効率化を進め、財務の改善を図っていきます。また、増加する外国人に対応する事業実施の方策について、団体と市がそれぞれの役割を果たしていきます。
3 市民	(公財) 横浜市体育協会	事業 の 再 整 理 ・ 重 点 化 等 に 取 り 組 む 団 体	① 引き 続き 取 組 を 推 進	協約の取組目標についておおむね順調に取り組まれている。 市は、団体の大きな不採算部門であるプール事業について整理したが、引き続き横浜市スポーツ振興施策において団体に期待する役割を整理する必要がある。市及び団体は、整理した役割に基づき事業の再整理・重点化を進める必要がある。	地域スポーツ事業や市民参加イベントの充実、27年度にリニューアルオープンした神奈川スケートリンクの運営、補助金以外の収入の比率の維持、人材育成計画の策定など、各種事業を着実に取り組んだことにより、協約の全ての項目が目標値を上回る結果となっており、順調に進捗しています。 また、事業の再整理・重点化等の取組につきましては、市においては余熱及び旧余熱プールについて、指定管理者制度を導入する方針を決定しました。今後は団体として、事業の再整理に向けた検討を行います。 29年度以降も引き続き、地域でのスポーツ関係者や競技団体等との連携ができる団体の強みを生かし、横浜市のスポーツ振興に一層の効果が上げられるよう努力していきます。
4 文化 観光	(公財) 横浜市芸術文化 振興財団	引き 続き 組 む 経 営 の 向上 に 取 り 組 む 団 体	① 引き 続き 取 組 を 推 進	協約の取組目標について、おおむね順調に取り組まれているが、専門文化施設4施設の利用者数実績が29年度の目標数値達成に向け遅れが見られる。市及び財団事務局による各文化施設に対するガバナンスを強化し、改善できることについては迅速に対応し、施設利用者数を増加させることが求められる。	専門文化施設4施設の利用者数の目標達成に向け、取組を続けてきたところであるが、政策経営協議会等の機会を活用し、これまで以上に、所管局、財団事務局、横浜美術館をはじめとする各専門文化施設の3者間のコミュニケーションを活発にし、プロモーションの更なる強化を図ることで、利用者の増加につなげていく。
5 文化 観光	(公財) 三溪園保勝会	引き 続き 組 む 経 営 の 向上 に 取 り 組 む 団 体	① 引き 続き 取 組 を 推 進	協約の取組目標について、順調に取り組まれている。 今後も団体の健全な運営を実施していくため、寄附金を増やすなど、収入を増加させる取組を更に推進することが求められる。また、引き続き公益的使命を果たしていくため、コスト削減を実施しつつ人員体制を整えるとともに、人材育成を行っていく必要がある。 多額の費用を要する古建築等の維持・大規模修繕については、団体と市、国、神奈川県との役割分担を明確にして取り組む必要がある。	協約目標はいずれも順調に推移しており、7月の料金改定により更なる増収も図られている。本市のインバウンドやMICEにおける重要なコンテンツとして、交通広告やSNS等様々な手法を活用したプロモーションを継続的に行い、魅力を発信することで、集客や施設利用を促進し、協約目標の達成につなげたい。 また、今後、重要文化財をはじめとした古建築の大規模修繕や、園庭の整備を予定しているため、人員体制の強化に取り組みながら、国や神奈川県との協力を得て、着実に進めていきたい。

所管局	団体名	団体経営の方向性	評価分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り	
6	文化観光	(公財) 横浜観光コンベンションビューロー	引き続き経営の向上に取り組み団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標は、おおむね順調に進捗しているが、インセンティブ誘致成約件数の増に関する進捗状況が遅れとなっており、一層の取組が求められる。 今後の団体経営にあたっては、団体が果たすべき使命を踏まえた市補助金以外での収入を増加させる取組を強化する必要がある。 引き続き、事業環境の変化に応じた団体が担う役割を明確にし、事業を実施していくことが求められる。	インセンティブ誘致については、経済波及効果も高いことから、開催規模によらず積極的に誘致に取り組んでいるところである。今後、ホテルの客室が大幅に増え、新MICE施設も竣工するなど受入環境も整うため、海外セールスなどの機会を活かし、関係事業者との連携を深め、インセンティブ誘致を強化していく。 また、団体経営にあたっては、観光MICEの推進という使命を踏まえ、国等の助成金や受託事業の獲得など、市補助金以外の収入増に向けての取組を一層進めていく。 交流人口の獲得に向けた都市間競争の激化や、観光MICE事業の需要や担い手の多様化といった環境変化に対応するため、団体の役割がこれまで以上に重要となっている。そこで、団体のマーケティング機能を強化し、公民一体となって戦略的に事業を実施していく。
		(株)横浜国際平和会議場	引き続き経営の向上に取り組み団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標について、順調に取り組まれている。 現在実施している大規模改修工事や今後想定される事業展開を見据え、営業利益の増加に向けた取組をより一層進め、公益的使命を果たしていくことが求められる。	自主企画催事の開催や既存事業から派生する周辺ビジネスの新規受注による売上の増加と、大規模改修工事の進捗管理など、確実な予算の執行管理により営業利益の増加をめざしていく。また、オール横浜としての連携強化により、市内経済の活性化などの公益的使命を果たしていく。
8	経済局	(公財) 木原記念横浜生命科学振興財団	引き続き経営の向上に取り組み団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標のうち「YBIRD事業収入額」が目標を大きく下回っている。施設利用に関する収入増に向けた努力も認められるが、バイオ医薬品開発に係る国内外の環境の変化等を踏まえると、当初想定していた水準での利用は今後も見通せない状況であり、財務状況への影響が懸念される。 このため、今後の団体の財務の健全性の維持と当該事業を通じて果たすべき役割を総合的に考慮し、収支改善の取組を進めるとともに、YBIRD事業のあり方について市と早期に検討を始める必要がある。	YBIRD事業については、昨年度から参画してきた次世代バイオ医薬品製造技術研究組合(MAB組合)の行う国家プロジェクトに引き続き参画していくとともに、大学・研究機関などへの研究支援や製薬企業等への営業努力を行い、収支改善を図っていきます。一方で、事業開始当初と比べると、国内外の環境の変化により、バイオ医薬品に関する受託が見込みにくいことから、営業努力と経費削減を行うことと並行して、市と財団であり方検討を行っていきます。なお、次期協約の締結に間に合うよう、結論を出していきたいと考えています。
		(公財) 横浜企業経営支援財団	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	①引き続き取組を推進	団体は、事業の再整理・重点化等を進め財務状況の改善を図る必要がある団体として位置付けられている。このため、具体化された今後の対応策については、これらを着実かつ計画的に実行し、その成果を収支改善に繋げていく必要がある。また、保有施設のあり方についても、市と団体が連携して責任を持って整理を進めるべきである。 引き続き、中小企業支援施策を担う他機関との役割の整理等を進め、更なる財務状況の改善に向けた検討を求めたい。	・事業については、市内中小企業を取り巻く状況や企業ニーズをしっかりと捉え、事業の再整理・重点化に取り組んでいきます。 ・施設については、市と財団とが連携して整理と利活用に取り組んでいきます。 ・財務については、他機関との更なる連携等、事業の再整理を進めた上で、事業と施設はしっかりと切り分け、安定的に継続できる財務構造を構築します。
10	経済局	(公財) 横浜市消費者協会	引き続き経営の向上に取り組み団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標は順調に取り組まれており、外部環境・法人の経営状況について新たな課題は見受けられない。引き続き消費生活相談の質の維持・向上に努め、利用者にとって満足度の高いサービスを提供することが求められる。 また、消費者教育の推進が進められる中で、消費生活総合センターの認知度をより向上させるため、市民に向けたより積極的な広報が求められる。	消費生活相談が多様化・複雑化している中、消費生活相談員に対する研修を適切に実施するなど、相談員の相談対応能力の維持・向上を図った結果、協約事項のあっせん解決率の取組目標を達成できたと考えます。 今後も消費生活相談サービスの質の維持・向上に努めるとともに、引き続き相談窓口である消費生活総合センターの認知度を高め、市民の消費者被害の未然防止・被害救済に取り組んでいく必要があると考えます。
		(公財) 横浜市シルバー人材センター	引き続き経営の向上に取り組み団体	①引き続き取組を推進	会員数及び就業機会の提供等の実績が減少し、協約の主要目標の進捗が遅れが生じている。 会員の直接雇用や労働者派遣契約への移行など、適正就業の推進による影響が認められるものの、今後も公益的使命を果たして行くため、会員数の確保や就業機会の提供拡大に一層の取組が求められる。 また、高齢者の働き方が多様化している中で、新たな分野での就業開拓や会員のニーズに応じた就業機会の提供が望まれる。	会員が適正な環境で就業することができるよう、引き続き適正就業を推進していくとともに、横浜市をはじめとした様々な団体及び企業と連携していき、新たな就業分野の開拓や更なる受注拡大に向けた取組を行っていく。「シルバー会員数」及び「就業機会の提供拡大」、「契約金額」は、それぞれの実績が連動しているため、連動性を図りながらバランスよく拡大させていく必要がある。 また、事務所職員における「区別会員担当制」によるきめ細かなフォローや会員意向調査などを通して、会員からのニーズの多い職種・就業地域等を把握し、ニーズに合った就業機会を提供することにより、それぞれの実績拡大を目指していく。

所管局	団体名	団体の方向性	評価分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り
12	(株)横浜インポートマート	民間主体への移行を進める団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標について、入館者数の増加等の取組にやや遅れが認められるが、おおむね順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況に新たな課題は認められない。 団体は、民間主体への移行に向けて、時期を明確化したうえでの着実な取組が求められる。引き続き、必要な条件・課題の整理・検討を進めていくことが求められる。	市の出資比率の早期の見直し実施に向け、引き続き他出資者及び国等の関係者と適時適切なコミュニケーションを図り、協議・調整を行ってまいります。 出資比率見直しに係る条件設定等については、外部専門家の知見も得ながら慎重に確認を進めてまいります。
13	横浜市信用保証協会	引き続き経営の向上に取り組む団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標は順調に取り組まれており、外部環境・法人の経営状況について新たな課題は見受けられない。信用保証業務については、市との連携のもと、市内企業の事業活動の推進に一定の役割を果たしている。 市内の信用保証業務については、神奈川県信用保証協会も行っている中で、市内企業にとっての団体の利用価値を更に高めて行くとともに組織運営の効率化を進めていくべきである。	市内企業にとっての利用価値を更に高めていくため、引き続き横浜市と密接に連携して、市内の経済情勢や特性に応じた機動的な信用保証の提供や、横浜市が推進する政策に即した独自の政策保証を実施します。併せて、取扱金融機関等との連携を更に深めて市内中小企業者のニーズの把握に一層努め、創業から事業承継までのライフステージに応じたきめ細やかな支援を行います。また、サービサーとの連携強化と有効活用等により組織運営の効率化を進めます。
14	経済局 横浜市場冷蔵(株)	民間主体への移行を進める団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標について、団体の主要目標である本場の取扱量の増加や民間主体の運営に向けた取組に遅れが見られるものの、効率的な経営や民間主体の運営に向けた人的関与の低減などに取り組んでいる。 次期協約では、民間主体への移行に向けた取組を早期に完了していく取組が求められる。引き続き、移行に向けた条件整理を進め具体的なスケジュールに基づき、市と団体が協力して、確実に取り組むことを期待する。	団体は、引き続き、水産物に加え、青果物の取り込みを強化し、本場の在庫量の増加を目指します。 また、市は、団体との「冷蔵施設のあり方に関する検討会」の協議結果を踏まえ、本市場の冷蔵施設について引き続き所有し、責任をもってフロン対策や老朽化対策に取り組んでいくことで、民間主体への移行に向けた条件整理を進めます。
15	横浜食肉市場(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。食の安全を第一に安定的な食肉の供給を図ることが団体の使命であるが、業界を取り巻く社会情勢の変化も踏まえ、収益の増加やコスト削減など、団体と所管局において連携して取組を進める必要がある。	厳しい市場間競争の中ではありますが、食の安全を第一に安定的な食肉の供給を図り、収益の確保やコスト削減などの取組を引き続き連携して進めます。
16	(株)横浜市食肉公社	引き続き経営の向上に取り組む団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。食の安全を第一に安定的な食肉の供給を図ることが団体の使命であるが、業界を取り巻く社会情勢の変化も踏まえ、収益の増加やコスト削減など、団体と所管局において連携して取組を進める必要がある。	厳しい市場間競争の中ではありますが、食の安全を第一に安定的な食肉の供給を図り、収益の確保やコスト削減などの取組を引き続き連携して進めます。
17	こども (公財)よこはまユース	事業の再整理・重点化に取り組む団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標について、自主財源収入の増加に向けた取組にやや遅れがあるが、おおむね順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況に新たな課題は認められない。 団体は、事業の再整理・重点化等に取り組む団体と位置付けられており、団体の役割である中間支援機能が効果的に発揮されるよう、引き続き事業の重点化に向けた取組を進めていく必要がある。	協約の取組目標については、概ね順調に進んでおり、「やや遅れ」のあった項目を含め、引き続き29年度目標を達成できるよう着実に取組を進めていきます。 また、委員会の助言を踏まえ、団体の役割である中間支援機能が効果的に発揮されるよう事業の一層の重点化に取り組んでいきます。
18	健康福祉 (公財)寿町勤労者福祉協会	事業の再整理・重点化に取り組む団体	①引き続き取組を推進	協約の取組目標について、診療事業収入の増加に向けた取組に遅れが認められるが、おおむね順調に取り組まれている。 現在、再整備が進められている横浜市寿町健康福祉交流センター（旧：寿町総合労働福祉会館）の管理運営を団体が担って行く場合には、その機能が効果的に発揮されるよう、地域におけるコーディネート機能の強化等、引き続き団体の事業の重点化に向けた取組を進めて行く必要がある。	診療事業については、27年度中に診療所の精神科医師が退職したことにより診療日数が減り、収入の減となったことで進捗状況が遅れていますが、28年度中に代替の医師を採用しており、診療日数の確保や、健康診査の受診者の増加によって、財政面の安定化に努めています。引き続き、寿地区における公益的な診療事業の必要性を理解し、地域に密着した診療を行う医師の定着を目指し、地域ニーズに合った医療提供の充実を図ってまいります。 その他新たな地域貢献型就労支援事業を受託するなど、事業拡大及び増収を図っています。

所管局	団体名	団体経営の方向性	評価分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り
19	(公財) 横浜市総合保健医療財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。また、他に現時点での団体の経営状況について新たな課題は認められない。 これまで団体が行ってきた各事業分野について、民間事業者によるサービス供給や現在の利用者のニーズ等を踏まえ、長期的視点に立って、今後果たして行くべきサービスや役割の検討を進めて行く必要がある。	引き続き安定的・効率的な運営に一層努めていくとともに、長期的視点に立って、財団が今後果たしていくべきサービスや役割について、財源も含め所管局と団体とで協議をしながら、検討を進めていきます。
20	(福) 横浜市社会福祉協議会	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標について、よこはまふれあい助成金の助成実績増加に向けた取組など一部に遅れが生じているが、おおむね順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況について新たな課題は認められない。 引き続き、各区社会福祉協議会とともに各事業の推進に取り組むとともに、地域包括ケアシステムを推進する一翼としての役割など新たな期待に応えて行くことで、地域福祉の推進に寄与していく必要がある。	進捗状況に「遅れ」が出ている「市民後見人支援」については、平成29年10月時点でバンク登録者66名のうち、33名が受任しており、バンク登録者に対する受任割合は政令市の中でもトップレベルとなっています。今後も受任状況を踏まえ、バンク登録者及び受任者の増加について、引き続き取り組んでいきます。 「やや遅れ」が出ている「地区社協支援」については、地区社協活動の手引きの改訂が完了し、29年度から研修を実施しています。同じく「やや遅れ」の「よこはまふれあい助成金」については、より活用しやすい効果的な制度となるよう助成区分等の見直しを実施し、助成実績の増を図っています。 今後も、社会的孤立や生活困窮など制度の狭間にある課題にきめ細かく対応するため、制度の充実と併せ、住民のつながりの中で見守り支えあう地域づくりに取り組んでいきます。
21	(福) 横浜市リハビリテーション事業団	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標について、療育センターの初診までの待機期間の短縮に向けた取組などにやや遅れが認められるが、おおむね順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況に新たな課題は認められない。 団体が運営する障害者スポーツ文化センターについては、障害者と健常者との交流の促進を今後も進めて行く中で、施設の一層の有効利用に繋がるよう検討を進めるべきである。 今後、団体が果たすべき役割を踏まえ、中期的目標である協約の推進を通じて達成する効果・成果を明確にしたうえで、引き続き経営の向上に取り組むべきである。	療育部門については、年々初診申込件数が増加している中で、初診待機期間短縮への取組として、平成28年度に新設した相談場所も活用し、原則として申込後2週間以内に相談員によるインテーク面談を行うことや、初期の療育支援の場として親子の広場事業などを実施しています。このような取組により、早期に保護者の不安軽減に努めるとともに、初診時に必要となる情報を事前に収集することで、支援の円滑化と待機期間の短縮に努め、今年度中には協約が達成できると考えています。 障害者スポーツの団体のネットワーク構築拡大については、すでに協約の取組目標である9区でのネットワーク構築が進んでおり、今年度中に達成する見込みです。引き続き、体育協会や区福祉保健センター等と連携しながら地域ネットワークの拡大に取り組んでいきます。また、障害者スポーツの普及啓発や支援者の育成を進め、裾野の拡大を図っていきます。 高次脳機能障害相談事業については、リハビリテーションセンターでの対応に加え、今年度までに18区の中途障害者地域活動センターで相談を受けられるよう窓口を広げました。各区の中途障害者地域活動センターで行う専門相談に月2回同席し、相談対応へのアドバイス等支援を行っています。引き続き、相談支援の充実・強化に取り組むとともに、障害児・者を取巻く環境に対応した事業を進めます。
22	(公財) 横浜市緑の協会	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標は、おおむね順調に進捗しているが、公益事業への還元のための収入の増加に関する進捗状況がやや遅れとなっており、一層の取組が必要である。 また、動物園の更なる魅力向上に向け、都市公園法改正による新たな制度であるPark-PFIの活用等の検討等を期待する。	公益事業への還元のための収入増加については、公園・動物園において、施設の魅力や利便性向上を図るほか、飲食・物販・その他サービスの充実、イベント等の集客事業の実施推進などにより利用促進を図り、収益向上につなげます。 また、動物園の更なる魅力向上に向けては、民間との連携をさらに進められるよう、公益財団法人横浜市緑の協会とともに取り組んでいきます。
23	(公財) 横浜市資源循環公社	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標は、順調に取り組まれている。 今後も団体が果たしてきた資源物処理水準の維持向上や市民啓発等の公益的役割を検証しながら、市として民間事業者の活用の拡大について検討していくことが求められる。	協約目標の取組に関する進捗状況（実績）は順調であり、引き続き取組を推進します。 今後も、公社は、資源物処理水準の維持向上や市民啓発等の公益的役割を果たしていくとともに、市としては、民間事業者活用の拡大について引き続き検討を進めます。

所管局	団体名	団体の方向性	評価分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り
24	建築	横浜市住宅供給公社	事業の再整理・重点化等	① 引き続き取組を推進 協約の取組目標は、順調に取り組まれている。今後も団体の公益的使命を果たしていくため、民間事業者の参入状況等、中長期的な視点で環境の変化を捉えたいうえで、事業の重点化や見直しを進める必要がある。	協約に掲げた取組のすべてにおいて、目標値を満たしており、進捗状況は順調です。事業の重点化に向けた取組として、公社の持つコーディネータとしてのノウハウを活用し、横浜市の住宅施策と連携して、高経年化したマンションや団地等の再生支援に積極的に取り組んでいます。協約の取組目標の達成に向けて、引き続き、事業の重点化を図っていきます。
		(公財)横浜建築保全公社	引き続き経営の向上に	① 引き続き取組を推進 協約の取組目標は、おおむね順調に進捗しているが、研修会参加者数・研修満足度維持に関する進捗状況がやや遅れとなっており、一層の取組が求められる。 なお、引き続き透明性・公正性を確保した入札を実施するとともに市の業務の効率化について検討する必要がある。	協約に掲げた取組目標の多くが順調となっていますが、研修満足度が82%でやや遅れとなっています。ニーズに合ったテーマの選定やわかりやすい研修をすることで、参加者数及び満足度の向上を図ります。引き続き、透明性・公正性を確保した入札を実施し、協約の取組目標の達成を図ってまいります。
26		横浜シティ・エア・ターミナル(株)	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	① 引き続き取組を推進 協約目標について、総利用客数の確保等の取組にやや遅れがあり、公益的使命を果たしていくためには空港アクセス環境の変化への対応を含め、取組を強化していくことが求められる。 また、団体は、民間主体への移行に向けた取組を進める団体に位置付けられており、29年度に実施する団体の資産価値の検証を含め、幅広い視点から検討し、具体的な取組を着実に早期に推進していく必要がある。	利用客数の確保は厳しい状況にありますが、事業の要である空港アクセスはもとより、空港路線以外の路線についても事業者との連携を一層強化するなど取組の強化を図り、公益的使命を果たしていきます。 また、民間主体への移行に向けた取組については、経営向上委員会の助言を踏まえ、団体の資産価値の検証とともに、幅広い視点から検討を進めます。
27	都市整備	横浜高速鉄道(株)	引き続き経営の向上に	① 引き続き取組を推進 財務の改善に向けた取組について、経常損益の黒字化を28年度に達成するなど順調に取り組まれている。また、公益的使命の達成に向けた取組についても順調に取り組まれている。 進捗にやや遅れが見られる業務・組織の改革に関する取組を一層進めるとともに、収入の多角化の取組を更に推進し、団体経営の向上を図っていく必要がある。	国内外からの観光・MICE目的で来街されるお客様の誘客や受入環境の整備を進めるとともに、駅構内の店舗開発や広告事業の拡充など、収益力の向上を図りながら、引き続き、「利用人員の増加」や「経常損益の黒字化」に努めます。人材育成についても、新たな人材育成プログラムの策定・推進に計画的に取り組み、組織力の強化を図っていきます。
		(一社)横浜みなとみらい21	引き続き経営の向上に	① 引き続き取組を推進 協約の取組目標について、順調に取り組まれている。また、団体の経営状況や外部環境についても、新たに大きな課題は確認されない。 引き続き、職員の人材育成を進め組織力の向上を図るとともに、自主事業収入の増加に努める必要がある。	協約目標を達成できるよう、引き続き取組を推進します。また、職員の人材育成および自主事業収入の増加に向けた検討を進めます。
29	道路	(株)横浜シーサイドライン	引き続き経営の向上に	① 引き続き取組を推進 協約の取組目標は順調に取り組まれており、外部環境・法人の経営状況について新たに大きな課題は確認されない。 将来に向けて、少子高齢化による利用者の減少やインフラ施設の老朽化への対応が懸念されるが、引き続き沿線内外からの需要喚起等に努め営業収入を確保し、財務の健全化を進めていく必要がある。	協約の達成状況の確認を通じて、団体に課せられた使命を担保し、今後も金沢臨海部での経済活動に必要な不可欠な公共交通機関を運営する団体として、安全、安定運行を支える経営環境の維持と財務の健全化に取り組めます。
30	港湾	(株)横浜港国際流通センター	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	① 引き続き取組を推進 協約の取組については、順調に取り組まれており、「累積損失の削減」が着実に進んでいる。また、他に団体の経営状況に新たな課題は認められない。 引き続き、更なる収益性の向上に努めるとともに、団体の財務状況や資産価値の検証を進め、民間主体への移行に向けた具体的な検討に着手していく必要がある。	協約目標達成に向けた取り組みは順調に推移しています。引き続き、目標とする水準の入居率を確保し、累積損失の削減を進めてまいります。 また、利用者の就業環境の向上をはかるなど、物流施設としての資産価値を高める取組を進めながら、民間主体への移行に向けた取組の時期を見定めてまいります。
		横浜港埠頭(株)	引き続き経営の向上に	① 引き続き取組を推進 協約の取組目標は順調に取り組まれている。団体は国際コンテナ戦略港湾施策に関して求められる役割をしっかりと果たして行くとともに、自社所有の在来施設の活用を積極的に進め、持続的・安定的な経営を行っていく必要がある。	協約の取組については、順調に推移しています。今後は、国際コンテナ戦略港湾施策の実現に向け横浜川崎国際港湾株式会社を積極的に支援・協力していくとともに、団体が所有する在来施設を活用することで安定した収益の確保を図るなど、持続安定的な経営に向けた取組を進めていきます。

所管局	団体名	団体経営の方向性	評価分類	委員会助言	所管局・団体の振り返り
32	港湾 (公財) 帆船日本丸記念財団	引き続き経営の向上に取組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれているが、経常損益が継続してマイナスとなっており、団体の事業の効率化や収益性の向上に取り組む、経営の安定化を促進する必要がある。 また、引き続き、各部門の事業の最適な実施方法などの検討を行い、日本丸の保存・有効活用について中・長期的視点を持って計画的な取組を進める必要がある。	協約の取組は、順調に進めることができました。今後とも、引き続き経営の向上に取り組むため、各部門の事業の最適な実施方法などの検討を行うとともに、帆船日本丸の保存活用について計画的に取り組んでまいります。
33	横浜ベイサイドマリーナ(株)	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。 今後は、民間主体への移行に向けて、時期を明確化したうえでの着実な取組が求められる。市が必要とする公益的役割を担保する方法を検討しながら、市の関与の低減についての検討を進め、民間の活力による施設の一層の有効活用に取り組まれない。	協約の取組については、概ね順調に進めることができました。今後は、民間主体への移行に向けて、本市が必要とする公益的役割を担保するための方法を整理し、本市関与の低減について検討を進めます。
34	水道 横浜ウォーター(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標について、順調に取り組まれている。 今後も団体の使命を果たしていくため、収支シミュレーションやリスク管理を行ったうえで事業を推進していくことが求められる。 なお、市への還元方法について、将来にわたって検討していく必要がある。	会社設立以来7期連続で黒字を確保するなど、着実に実績を積み重ねるとともに事業拡大に取り組んでおり、平成28年度決算を踏まえた株主総会では、「配当の実施」を決議するなど、協約の目標達成に向け順調に取り組んでいます。 今後は、横浜ウォーター株式会社が新たに策定した「中期計画2019」（計画期間：平成29～31年度）に沿って、機動性と公益性を保ちつつ重点施策を推進してまいります。具体的には、将来の成長・発展に向け、人材の育成・確保や財務管理の徹底など経営基盤の強化に取り組むとともに、リスク管理にも留意しつつ、様々なビジネスチャンスの獲得に向け取り組みます。 水道局への還元方法については、財政面だけでなく人材育成や局業務の効率化提案等、局のパートナーとして会社のもつノウハウを最大限活用できるよう、多角的な観点から検討してまいります。
35	交通 横浜交通開発(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標は、おおむね順調に進捗しているが、貸店舗の新設・収入増に関する進捗状況がやや遅れとなっており、一層の取組が求められる。不動産事業について、社会環境の変化に柔軟に対応するため、計画を立て、スピード感をもって進める必要がある。	引き続き効率的な事業運営を行い健全な経営を維持しながら、資産のさらなる有効活用など、収益の増加に取り組むことで、交通局の経営基盤の強化に寄与してまいります。 とりわけ、貸店舗の新設・収入増については、計画目標に対してやや遅れがみられることから、新規店舗の開設等、一層の取組を進めてまいります。 また、バス事業においては、交通事業者としての使命である「安全」を最優先に、事故の撲滅に向けた取組を強化してまいります。あわせて、お客様に快適にご利用いただけるようサービスの向上にも積極的に取り組んでまいります。
36	教育 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団	引き続き経営の向上に取組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標である文化財施設への来館者数の増加及び経常収益における自己収入の増加について、やや遅れとなっており、公益的使命の達成及び歴史的建造物の有効活用等による収益性の向上に向けた取組を強化する必要がある。	「文化財施設の来館者数の増加」のために、施設間の連携による魅力的な企画展の開催や、「学芸員が学校訪問をしての出張授業」などによる学校教育との連携に取り組んでいるところです。 今後も、組織体制の見直し等による運営の効率化・活性化を進めるとともに、歴史や文化、博物館の魅力を伝えるための取組を推進してまいります。
37	(公財) よこはま学校食育財団	引き続き経営の向上に取組む団体	① 引き続き取組を推進	協約の取組目標について、順調に取り組まれている。 引き続き社会環境の変化に対応した公益的的使命を果たしていくため、安定的な給食物資の調達を継続するとともに、より安価な調達方法を検討する必要がある。	取組目標について、順調に取り組んでいるとの評価をいただきましたので、引き続き当該団体の経営向上の取組を進めます。 また、安全・安心かつ安価な物資調達のため、市場価格の動向を注視し、財団として入札の上限価格を設定するなど、これまででも努力してきました。今後も社会環境の変化に対応しつつ、安全で安心な物資の安定的かつ安価な調達ができるよう、より一層留意し、見直しに努めてまいります。

審議方法（案）及び団体視察実施状況一覧

	団体名	団体分類	30年度 所管課等 出席（案）	30年度 協約 策定	備考	視察 状況
1	(公財)横浜市国際交流協会	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		
2	(公財)横浜市男女共同参画推進協会	引き続き経営の向上に取り組む団体			H29所管課出席 H32協約策定	30
3	(公財)横浜市体育協会	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	○	○	事業の再整理・重点化	26
4	(公財)横浜市芸術文化振興財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		
5	(公財)三溪園保勝会	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	29
6	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	
7	(株)横浜国際平和会議場	引き続き経営の向上に取り組む団体			H31協約策定	
8	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○	H29所管課出席	26
9	(公財)横浜企業経営支援財団	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	○	○	事業の再整理・重点化 H29所管課出席	26
10	(公財)横浜市消費者協会	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
11	(公財)横浜市シルバー人材センター	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
12	(株)横浜インポートマート	民間主体への移行に向けた取組を進める団体		○	民間主体への移行	26
13	横浜市信用保証協会	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	
14	横浜市場冷蔵(株)	民間主体への移行に向けた取組を進める団体			H29所管課出席	26
15	横浜食肉市場(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
16	(株)横浜市食肉公社	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
17	(公財)よこはまユース	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	○	○	事業の再整理・重点化	26
18	(公財)寿町勤労者福祉協会	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	○		H31協約策定	27
19	(公財)横浜市総合保健医療財団	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	29
20	(福)横浜市社会福祉協議会	引き続き経営の向上に取り組む団体			H31協約策定	26
21	(福)横浜市リハビリテーション事業団	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	29
22	(公財)横浜市緑の協会	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		26
23	(公財)横浜市資源循環公社	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		26
24	横浜市住宅供給公社	事業の再整理・重点化等に取り組む団体	○	○	事業の再整理・重点化	29
25	(公財)横浜市建築保全公社	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		
26	横浜シティ・エア・ターミナル(株)	民間主体への移行に向けた取組を進める団体			H29所管課出席	26
27	横浜高速鉄道(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
28	(一社)横浜みなとみらい21	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		
29	(株)横浜シーサイドライン	引き続き経営の向上に取り組む団体			H31協約策定	
30	(株)横浜港国際流通センター	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	○	○	民間主体への移行	26
31	横浜港埠頭(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体		○		28
32	(公財)帆船日本丸記念財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		27
33	横浜ベイサイドマリーナ(株)	民間主体への移行に向けた取組を進める団体	○	○	民間主体への移行	26
34	横浜ウォーター(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	
35	横浜交通開発(株)	引き続き経営の向上に取り組む団体		○	H29所管課出席	
36	(公財)横浜市ふるさと歴史財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		26
37	(公財)よこはま学校食育財団	引き続き経営の向上に取り組む団体	○	○		
合計			15団体	30団体		21団体